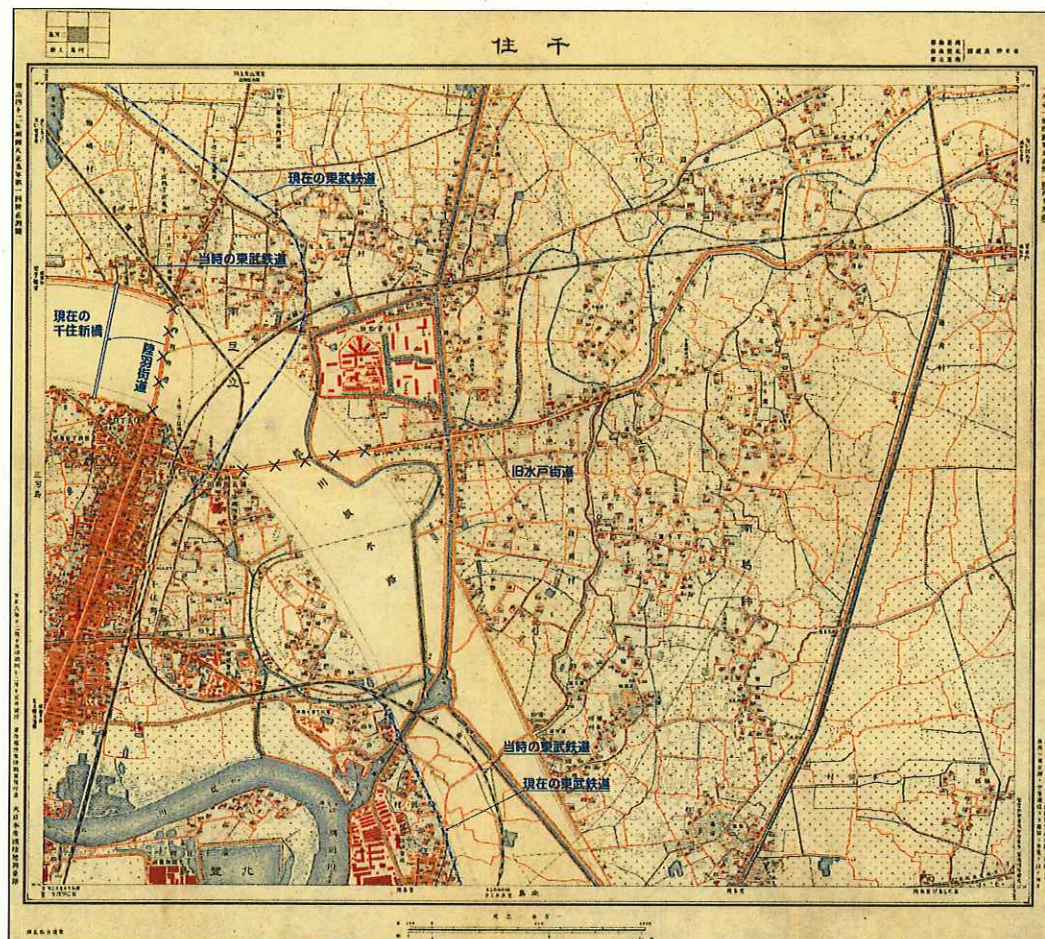


堂々と流れる人工河川－荒川－

広々とした土手や河川敷を散歩やランニングをする人々の姿が映画やテレビドラマのシーンでおなじみ、大都会の中を堂々と流れる荒川は、誕生してまだ 80 年あまりの人口の河川（放水路）です。

墨田川流域地域の洪水を防ぐ目的で開削された東京都北区岩淵から河口まで 22km の放水路は、明治 44 年（1911 年）に工事を開始して、昭和 5 年（1930 年）に完成しました。この工事ではパナマ運河建設にも携わった土木技術者の青山士（1880-1963）が責任者として指揮をとりました。

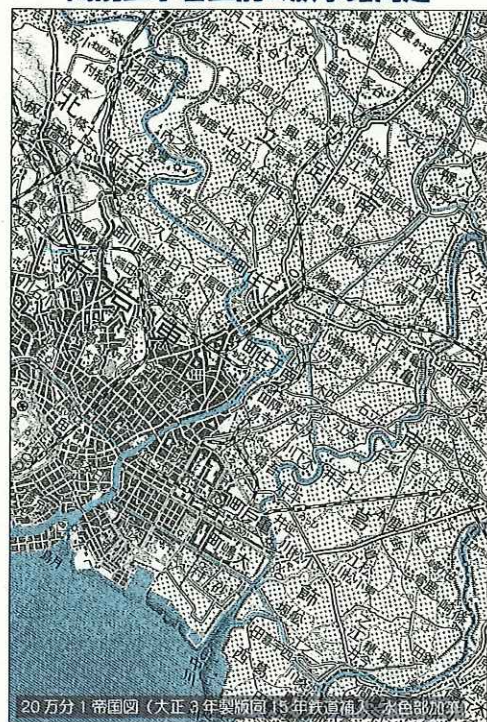


左の図は大正 5 年（1916 年）発行の 1 万分 1 地形図です。

荒川放水路の建設着工から 5 年。千住の街並みと近郊の田畑を切り裂くように空白の地帯が地図上に広がっています。その中に、まだ付け替え工事の終わっていない東武鉄道や、後に分断される旧水戸街道などが残されています。



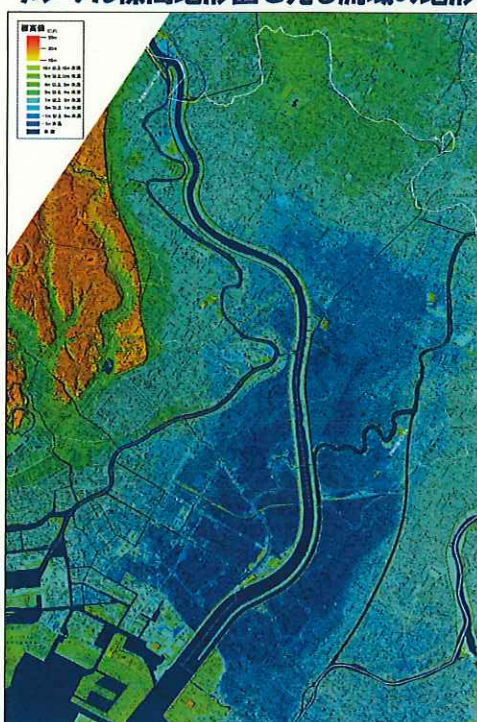
開削工事着工前の放水路周辺



いまの荒川（岩淵水門～河口付近）



デジタル標高地形図で見る流域の地形

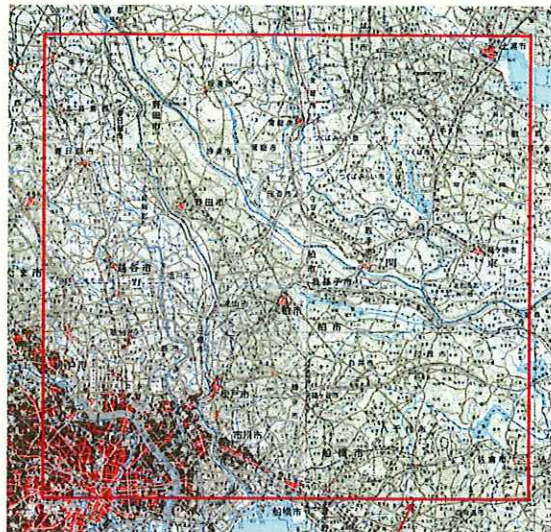


現在の千住付近



迅速測図原図で
明治時代の関東地方を眺めてみよう

測量した時期は、図によって異なりますが、明治
13 年（1880 年）から明治 17 年（1884 年）の
間です。130 年前の風景を楽しんでみてください。



展示している迅速測図原図の範囲



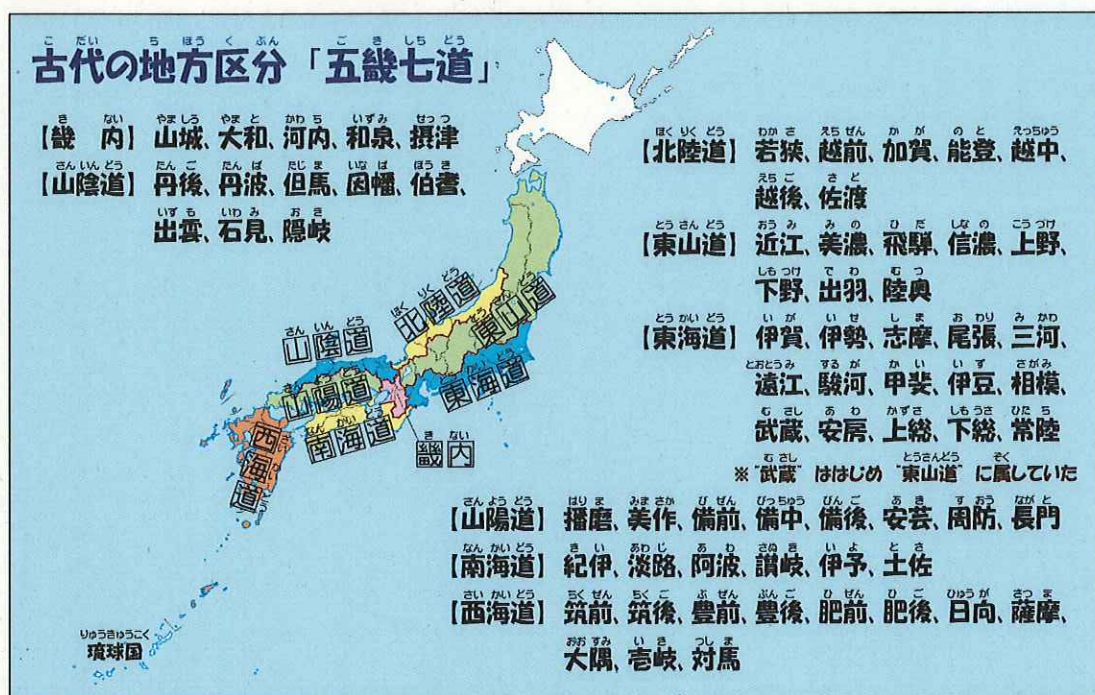
現代に生きる昔の地方区分の「国」

私たちが日ごろからよく見聞きし、身近なところで使われている“常陸”、“武蔵”といった地名は、今から1300年以上も昔、日本がひとつの国家として統一されていく過程で「律令制度」に基づいてつくられた地方区分です。これら地方区分の「国」は、西暦645年の「大化の改新」から701年の「大宝律令の制定」の間にほぼ形が整えられて、江戸時代の終わりまでつづきました。なお、明治維新直後に東北地方の“陸奥”と“出羽”が分割され、北海道内には新たに「国」が新設されました。

■地名は漢字二文字の好字をあてよ

このときつけられた「国名」は、当時日本から見ると先進国であった「唐（中国）」にならって漢字二文字に統一されました。その結果、「上毛野」が「上野」になったり、一文字の「泉」が“和泉”とされたりしました。

西暦713年（和銅6年）、諸国に「風土記編纂」が命じられたおりには「諸国郡郷名著好字令（好字二字令）」が出され、国名はもとより郡や郷（今の町村に相当）、さらには山や川の名前まで「できるだけ良い字二文字」で表記するようになりました。今でも地名や私たちの名字や名前に二文字が多いのは、このときの名残りとされています。



唐の都「長安」は「宋長く安寧」につながる良い字が使われているようだ

わが国もこれにならう

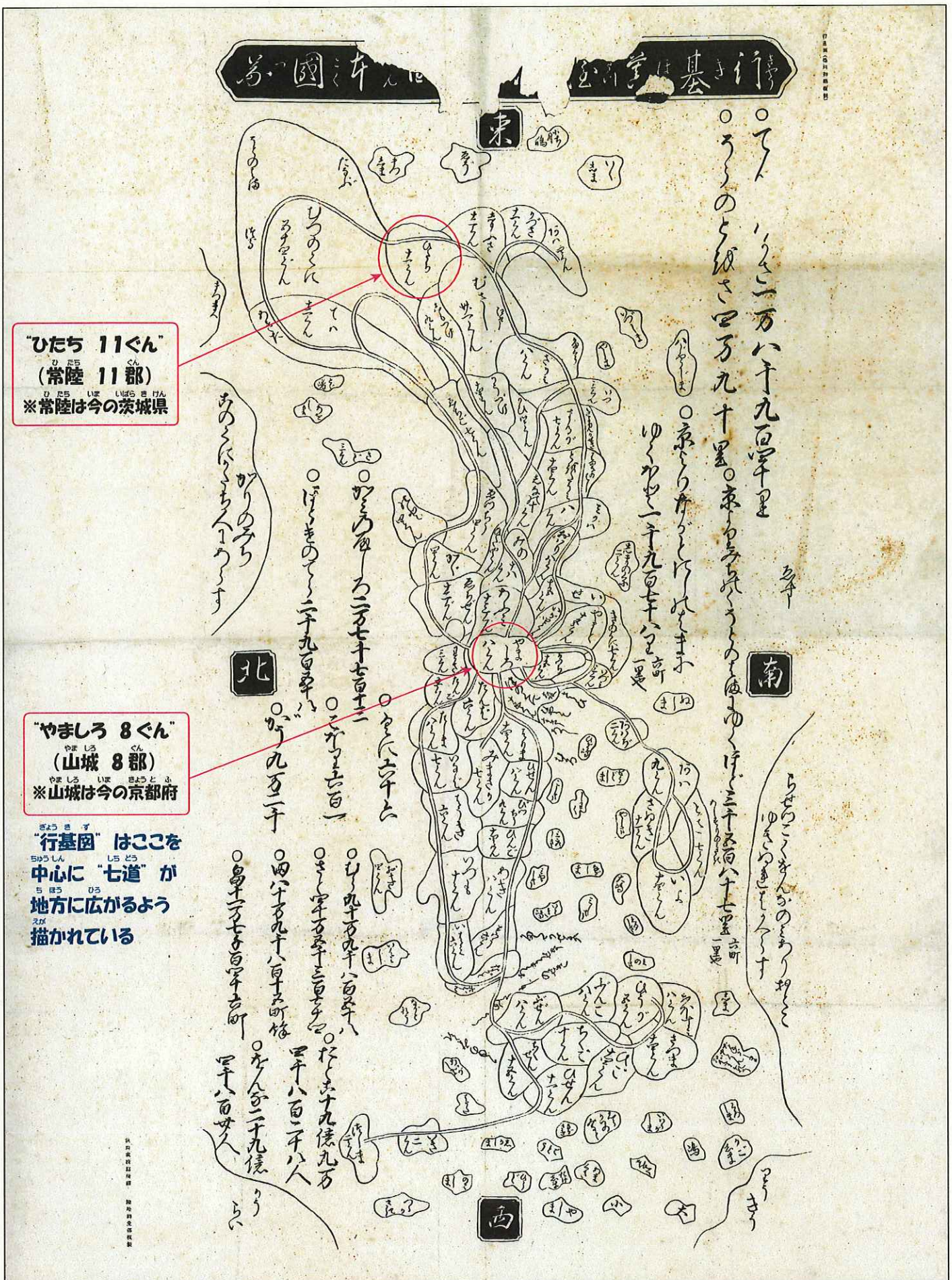


■当時の「国」のようすを表した「行基図」

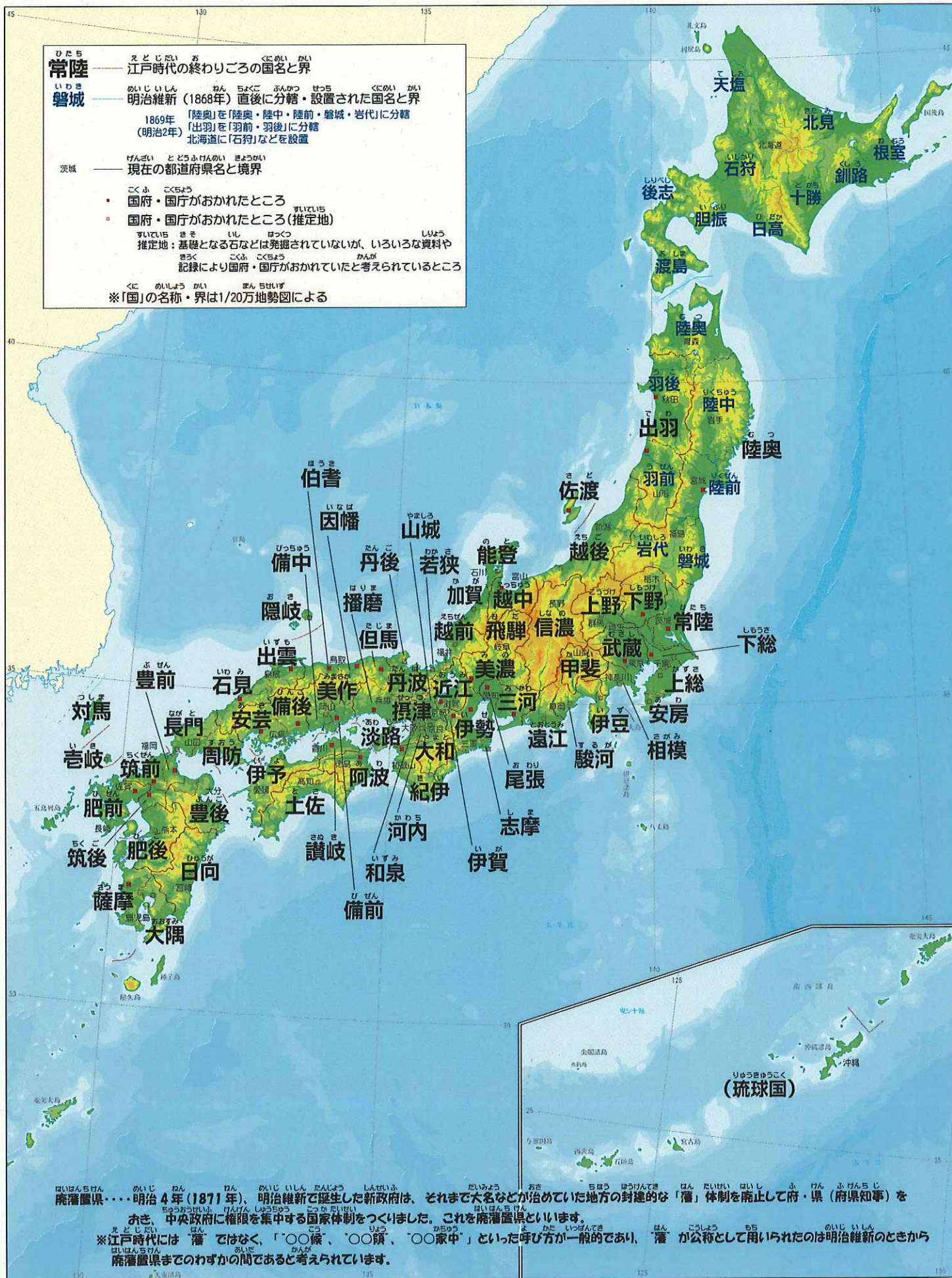
絵地図が飛躍的に普及をとげた江戸時代に至るまで、日本の地図として利用されていたのは、奈良時代の僧、「行基」（668～749）が制作したとされる図で一般に「行基図」と呼ばれ、よく知られているものです。この地図は、畿内中心に律令制下の行政区分である“道”（七道）の線を引き、そこに団子状に描いた各国々をつないでいくものでした。ただし、行基が作ったという伝承はあるものの、その根拠は明らかではありません。

ここに展示した図は、秋岡家が所蔵していた「徳川初期複製」図を陸地測量部が複製したもので、この図には「国名」をひらがな書きにしたり、郡郷の数や田畑の面積などの情報が書き入れられている特徴があります。

「行基図」(陸地測量部複製)



廃藩置県(明治4年1871年)直前の「国」



身近にある「国名」由来の地名等

私たちのまわりには、昔の「国」の名前に由来する地名などがたくさんあります。

どんなところに使われているかがしてみよう。

由来・・・物事や言葉のもとになったもの

【中国地方】

古代の日本では、都に近い今の近畿地方あたりを近国、遠く離れた九州や関東地方などを遠国と分け、近国と遠国の間を中国とした。北陸地方や中部・四国の一部も中国であるが、今では鳥取・島根・岡山・広島・山口の5県をさして中国地方と呼んでいる

【吉備団子】に登場する

「吉備団子」がよく知られているね
岡山県は山梨県・福島県
などと並ぶ産地で、
特に高級品種の「白桃」の
原産地。昔から桃に
ゆかりがあったんだね



【吉備高原】

岡山県から広島県東部
にかけてのこのあたり
一帯には、備前・備中・
備後・美作の国が制定
される前には「吉備」と
呼ばれる大きな国が
あった

【両毛線】

上野・下野は、もともと
は「上毛野・下毛野」。両
方の「毛野国」を結ぶこ
とから名づけられた

【甲斐信ヶ岳】

山の形が握り拳に似て
いるからこう呼ばれて
いるとも言われている
が、甲斐・信濃・武蔵の
境にあることから「甲斐
信」の字をあてたようだ

【濃尾平野】

美濃と尾張にまたがっ
て広がる平野

【伯備線】

伯耆と備中を結ぶ鉄道

【九州地方】

筑前・筑後・肥前・肥後・豊前・豊後・日向・薩摩
・大隅の9カ国からなる地方

【筑紫平野・筑紫山地】

九州北部のこのあたり
には「筑紫」と呼ばれる
大きな国があったが、
その後筑前・筑後の二
つの国に分けられた

【根釧台地】

根室と釧路の間に広が
る台地。根釧原野と呼
ばれることもある

【奥羽山脈】

東北地方の脊梁山脈
(背骨となるような大き
な山脈)で陸奥(陸奥
・陸中・陸前・磐城・岩代)
と出羽(羽前・羽後)
を分けていることから
「奥羽山脈」と呼ばれる

【三陸海岸】

陸奥・陸中・陸前の三国
にまたがる海岸

【常磐線】

常陸と磐城を結ぶ鉄道

【常総台地】

常陸台地と下総台地を
おおくりにして常総台
地という。
常陸国と下総国にまた
がる茨城県南地域が
「常総」と呼ばれるこ
ともある

【房総半島】

安房・上総・下総に広
がる半島

【兩國橋】

武蔵と下総の二国(両
国)の間に架かる橋

【遠州灘】

遠州は遠江国のこと。
そのあたりに面した海

東京スカイツリーの

634メートルの高さは
武蔵から決まったと
聞いたよ

加賀友禅、備前焼など
の伝統工芸品でも
よく見かけるわ



阿蘇山(1592m)の高さは
肥後の国とおぼえるといふよ

ひのくに
1592

※阿蘇山(高岳)の高さ

讃岐うどん、伊勢エビ、
越前ガニ、伊予柑・・・
おいしい食べ物にも
たくさん付いているね

